

オールボー憲章

リオ・サミット(1992)での、「ローカルアジェンダ21」に基づき、欧州を中心に「持続可能な社会」のための自治体における指針を模索。

一方で、EU市場統合による高い失業率や階層分化が課題に。

「社会的な持続可能性」を議論。

オールボー憲章(デンマーク、1994)

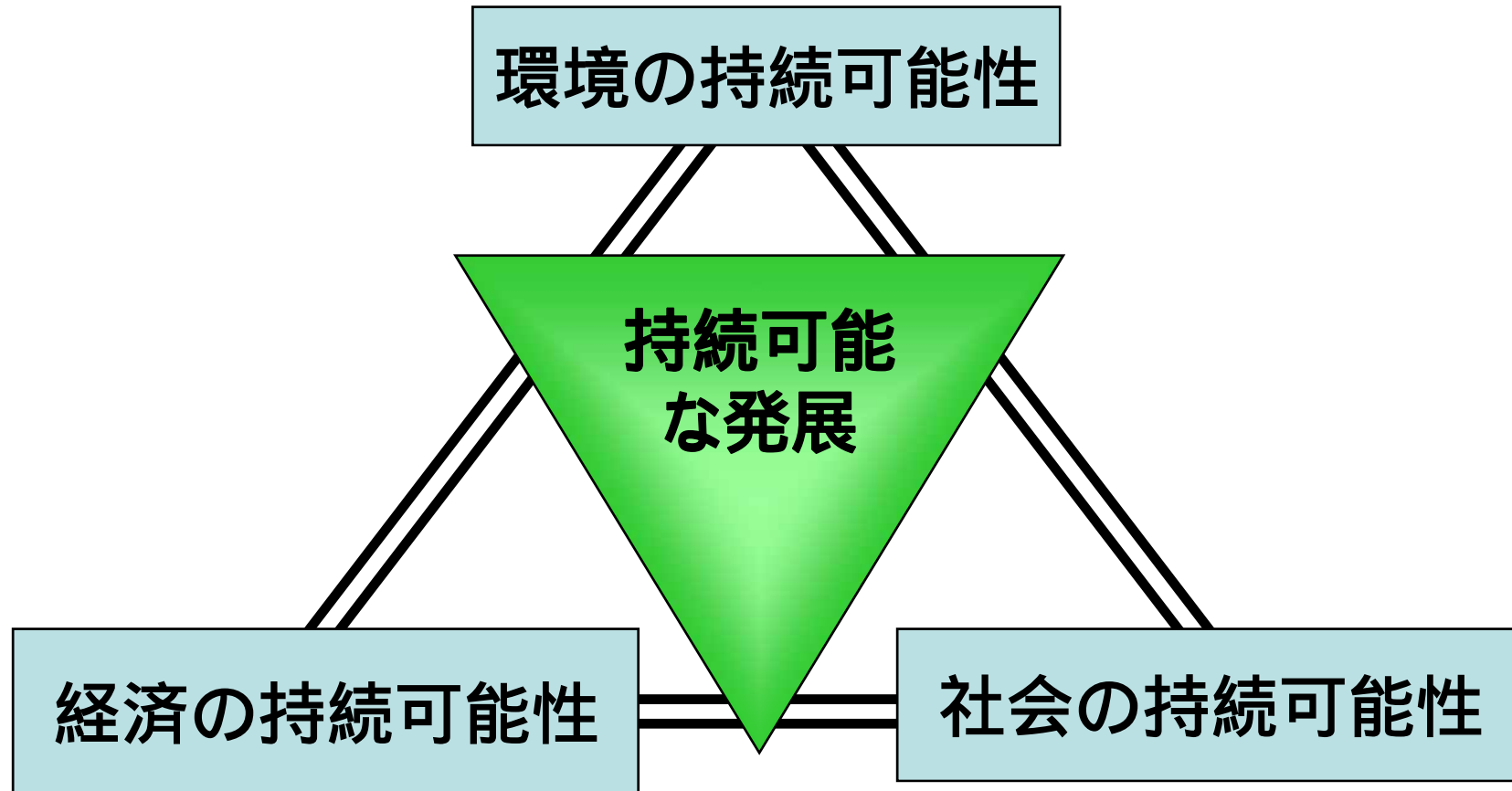
= 「サステイナブル・シティ」

真の意味で持続可能な都市では、生活の質、市民の福祉(well-being)に関心を。

EUにおけるサステナビリティ ～都市パイロット事業のテーマ～

A	前例のない手法を用いて、都市計画的に空間環境を改善する。
B	文化的、歴史的な優位を見出し、中都市を発展させる。
C	歴史的な中心地区や衰退地区の再生。環境改善、治安の向上、職業訓練を同時に進める。
D	既存の用途を失った市街地に対する取り組み。鉄道や駅舎周辺の疲弊地区の利便性を改善する。
E	マイノリティに属する人々を社会的・経済的に取り組む。誰もが市民参加できる機会を与える。
F	公共スペースや緑地の整備。廃棄物処理やリサイクル等に供する施設を提供する。クリーンなエネルギーを活用し、エネルギー消費を減らす。
G	地理的に不利な地域で、建築的、社会的に価値のある建物の保存に取り組む。
H	公共移動手段と駐車場をネットワークで運営する。郊外地区から労働市場へのアクセスを改善する。
I	情報技術を駆使して都市機能を改善し、経済発展を促す。
J	先進的な対策を実践するために組織を見直し、法的環境を整える。

環境、経済、社会の持続可能性



環境首都創造に向けた取り組み



環境首都創造会議での議論

- ・委員: 34名(産学民官)
- ・期間: 平成16年3月~10月
- ・全体会議4回、部会10回等



環境首都創造フォーラム
(平成15年10、12月)

環境首都創造に関する
意見募集

- ・期間: 平成15年4~12月
- ・1000件以上の応募



環境首都づくり宣言
(平成16年10月9日)

～人と地球、そして未来の世代への北九州市民の約束～

環境首都グランドデザイン

《基本理念》

「真の豊かさ」にあふれるまちを創り、
未来の世代に引き継ぐ

《三つの柱》

共に生き、共に創る

…社会的側面

環境問題を自らの課題として認識し、環境意識が世界一高い市民となる。

環境で経済を拓く

…経済的側面

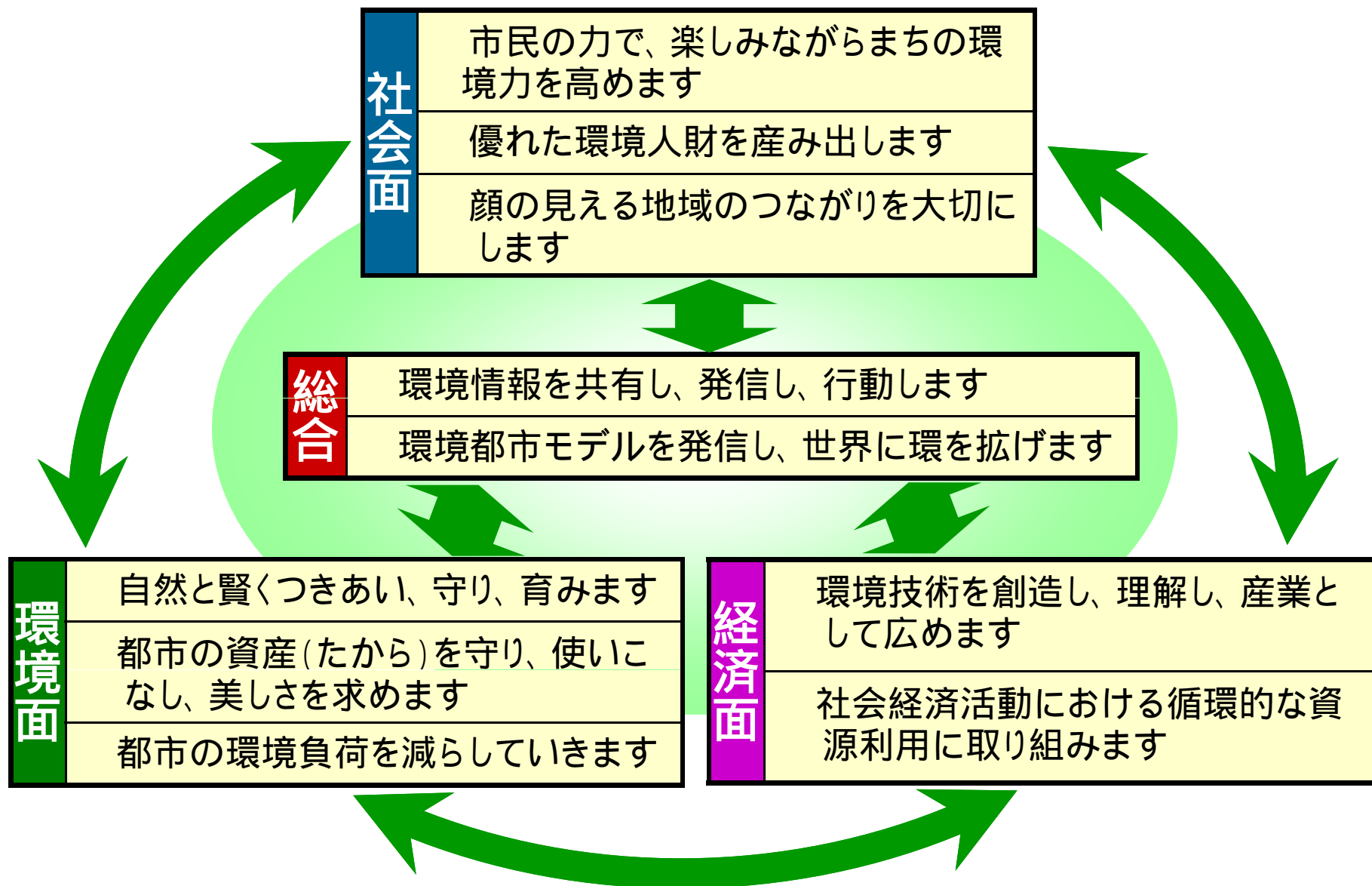
環境産業をさらに発展させ、環境と経済の好循環による持続可能な社会を創出する。

都市の持続可能性を高める

…環境的側面

環境負荷の小さい都市構造へ転換するとともに、豊かな自然環境を活かした魅力ある都市構造を創造する。

北九州市民環境行動10原則

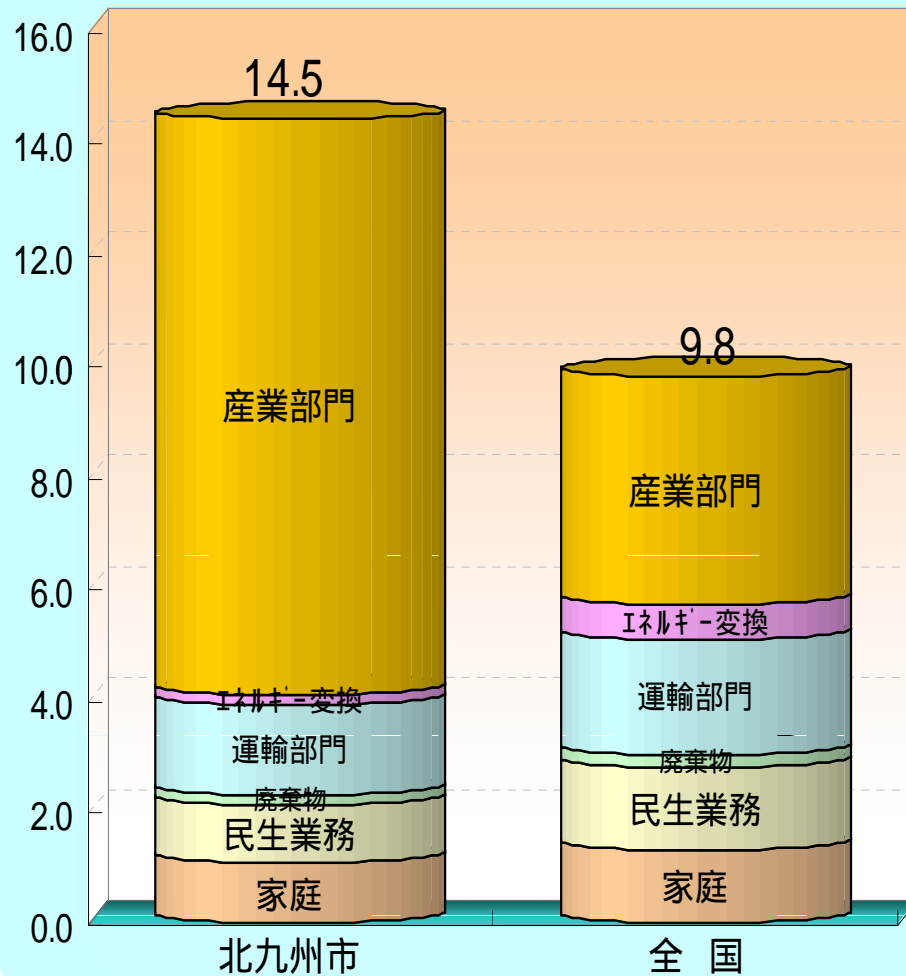


- 1 . 公害対策の経験
- 2 . 環境国際協力の歴史
- 3 . エコタウン事業とその発展
- 4 . 環境首都グランドデザイン
- 5 . 低炭素社会に向けた取り組み
- 6 . 環境人財育成
- 7 . アジアとのWIN-WIN関係へ

一人当たりの二酸化炭素排出量の比較

北九州市 - 全国(2002年度)

トン/人



単位:トン/人

	北九州市	全国
総量	14.5	9.8
家庭	1.1	1.3
民生業務	1.0	1.5
廃棄物	0.2	0.2
運輸部門	1.6	2.1
エネルギー変換	0.2	0.6
産業部門 (工業プロセス含む)	10.3	4.1
人口(千人)	1,011	126,926

北九州市地球温暖化対策地域推進計画

温室効果ガス増加率(1990 - 2002)

《総量》 - 3.1%

・家庭部門 + 16.5%

・業務部門 + 57.7%

・運輸部門 + 15.5%

目標

10%削減!

家庭部門 ~ 1世帯あたり

業務部門 ~ 床面積あたり

運輸部門 ~ 自動車1台あたり

総量で7.5%削減